

キウイフルーツ特報No.3



2021. 6. 17

J A 中野市園芸課

J A中野市キウイフルーツ研究会

生育は、平年より3日程早く進んでいます。満開期6/6（日野）

病害虫の防除は予防を意識し、早めの散布を実施しましょう。

また高品質生産に向け、適期に適正なフルメット液剤処理を行いましょう。

1、病害虫防除

7月上旬	果実軟腐病 対策	(10aあたり	350リットル)
------	----------	---------	----------

水	100ℓ		
---	------	--	--

展着剤	10mℓ		
-----	------	--	--

ダコニール1000	100mℓ	(60日前、7回)	
-----------	-------	-----------	--

*ダコニール1000に代えてベンレート水和剤2000倍（7日前、5回）でもよい。

*カメムシの吸害が心配される園地（山間部、街灯が近くにある等）では、アディオン乳剤2000倍（7日前、5回）を加用する。

◇ 夏季管理講習会について

夏季管理についての講習会を開催いたします。
都合をつけてご参加ください。

日時：7月12日(月) 午前11時

集合場所：日野出荷所(旧日野事業所の向かい)

内容：新梢管理について(芽かき、誘引、摘心)

【新梢管理】⇒一定の明るさを保つよう管理する

① 7月上旬頃より、2~3回新梢管理を行ない、棚面の明るさを保つ。

② その後も、新梢の巻き付き部や徒長枝の整理を行う。

詳しくは6月配布のキウイフルーツ情報をご覧ください。裏面もご覧ください。

2、フルメット液剤処理

①処理時期目安

・赤肉・黄肉系品種（レインボーレッド／ゴールド）

満開日	20日後	25日後	30日後
5/18	6/7	6/12	6/17
5/19	6/8	6/13	6/18
5/20	6/9	6/14	6/19
5/21	6/10	6/15	6/20
5/22	6/11	6/16	6/21
5/23	6/12	6/17	6/22

・緑肉系品種（ハイワード）

満開日	20日後	25日後	30日後
6/5	6/25	6/30	7/5
6/6	6/26	7/1	7/6
6/7	6/27	7/2	7/7
6/8	6/28	7/3	7/8
6/9	6/29	7/4	7/9
6/10	6/30	7/5	7/10

②処理方法 処理は年1回だけです。時期に応じて濃度を調整してください。

処理時期	処理濃度	処理方法
満開 20～25日後	2.5ppm (水4ℓにピン1本10ml)	果実浸漬処理
満開 25～30日後	5ppm (水2ℓにピン1本10ml)	果実浸漬処理

③ 処理上の注意

- ・乾ききる前の降雨で効果が低下するため、処理後に降雨がない日を選ぶ。
- ・着果量が多いと樹体への負担が過剰となり、樹勢低下や隔年結果の原因になりやすい。
⇒樹勢に応じた処理と、適正着果量に応じた摘果を行う必要がある。
- ・処理濃度が高い・または処理時期を早く行ってしまい、過度に果実が肥大すると、変形や糖度が低下するなどの問題を生じやすい。
- ・奇形果として、果頂部の突出や扁平果、果梗部の亀裂の発生などがあり、果肉の軟化や落果なども生じやすいので注意が必要。